

“わたしのまち”

東京湾に面したお台場海浜公園では
マリンスポーツや磯遊びが楽しめる

港区

涼感を求めて、夏散策

「ちいばす」お台場レインボーバスで行く海風を感じる場所」

趣のある運河沿いの遊歩道、海辺の景観が魅力の港区ベイエリア。
バスを使えば湾岸のレジャースポットを気軽にまわることができます。
区内を走るコミュニティバス「ちいばす」と、田町・品川駅と台場地域を直接結ぶシャトルバス
「お台場レインボーバス」で、涼さを求めて水辺の散策に出かけてみませんか。
ウォーターフロントの人気スポットをめぐるまち歩きを紹介します。



魅力あるまち港区ベイエリア

港区は、都心に位置し、政治・経済・文化芸術の中枢を担う一方で、歴史あるまち並みと豊かな自然がいたるところに残っており、東京の過去と現在と未来が共存する情緒と人情あふれる世界に誇れる魅力のあるまちです。

その中で芝浦港南地区は、大部分を明治期以降の埋立てによってできた土地で、これからますます発展していくことが予想される地域です。

美しく整備された運河や海風を感じることのできる公園など、水辺ならではの人気スポットがたくさんあり、利便性が高い都心の人気エリアでありながら、緑や水辺など自然が多く環境が良いのもこの地域の魅力です。



新芝運河沿緑地で目を引くモニュメント。楽器を奏でる銅像「リバーサイドトリオ」（黒川晃彦氏作）

開放的な景観が広がる運河沿いの美しいまちや緑あふれる遊歩道を散歩したり、夕暮れどきの海を眺めたり、この地域を散策して水辺の優雅な雰囲気を楽しんでみませんか。

ベイエリア散策に便利なバス

この地域の散策に活用したいのがバス。コミュニティバスやシャトルバスを利用すれば、手軽に人気スポットをまわることができます。

利用すると便利なのが、港区のコミュニティバス「ちいばす」と、台場地域と田町駅東口又は品川駅港南口を直接結ぶシャトルバス「お台場レインボーバス」。ちいばすの芝浦港南ルート

は海のそばを走るルートで、レインボーブリッジを近くで見ることができず。とくに夕暮れどきや夜景の美しさは一見の価値あり。一方、お台場レインボーバスは、品川駅港南口と田町駅東口を出発・到着地として、お台場エリアを循環していますので、お台場観光の足として役立ちます。

土日や祝日、夏季や冬季の一部期間は両方のバスで使用できる共通一日乗車券も発売されているので、休日にあちこち散策したいときには便利です。

人気スポットをまち歩き

今年4月に拡張され、リニューアルした「芝浦中央公園」は、東京都水道局芝浦水再生センター内の曝気槽（ばつきそう）の上部を鉄筋コンクリートで蓋をして造られた人工地盤の公園です。園内には四季折々の美しい花が目を惹かせてくれると同時に、人工芝やゴムチップ舗装の広場、木製遊具のある芝生広場などがあり、親子そろって楽しめます。

運河沿いに広がる「港南緑水公園」は区民参画により造られた公園で、平成24年に開園しました。噴水や自然観察池（ビオトープ）が目印で、はらっぱ広場や

楽しい遊具は子どもたちに人気です。芝浦港南地区には魅力的なスポットがまだまだたくさんあります。

芝浦のまち並みを象徴するのが運河です。新芝運河沿いにはきれいに舗装された遊歩道が続き、夕暮れどきにはおしゃやかなガス燈がレモン色の光を灯し、ロマンチックな散歩が楽しめます。

この界限は、江戸時代に月見や海水浴の名所としてにぎわった地域。緑地と遊歩道が続く憩いの空間を、日が暮れて涼しくなる頃に散歩してみるのも良いでしょう。

芝浦港南地区から台場地域までは、バスや電車を使わずに船や徒歩で海を渡ることも可能です。

芝浦アイランドから出ているクルーズ船「アーバンランチ」でお台場まで移動することができます。いつもの見慣れたまちの風景も、水の上から見れば違った雰囲気。気持ちの良い潮風を感じながら、湾岸レジャースポットの船旅が楽しめます。

徒歩でお台場まで向かう場合は、レインボーブリッジの遊歩道「レインボープロムナード」を。東京湾に架けられた美しい吊り橋「レインボーブリッジ」からの景色を眺めながらバスで渡

るのも良いのですが、晴れた日は、歩いて渡ってみるのも良いでしょう。片道約20〜30分ほど、吊り橋のサウスルートはお台場方面、ノースルートは晴海方面を歩きながら眺められます。

海を越えてお台場へ到着したら、人工砂浜が広がる人気の「お台場海浜公園」へ行ってみましょう。アクセスがよく、気軽に磯遊びができる場所として人気の場所です。

また、海の方こうには高層ビルが建ち並び、都心ならではの光景が広がり、夕方から夜にかけてビル群がシルエットで浮かぶ姿も幻想的です。

帰りはお台場レインボーバスで品川

駅まで戻り、ちょっと足をのびして、リニューアルし7月10日にランドオーブンしたばかりの水族館「エプソン アクアパーク品川」に寄ってみるのもおすすめ。

また、今年5月にオープンした複合ビル「品川シーズンテラス」でお腹を満たすのもよし。

港区の各エリアについてさらに知りたくなったら、区が育成した観光ボランティアによる「まち歩きツアー」に参加してみるのも良いでしょう。有名スポットや穴場スポットをガイド付きでまわれば、名所や歴史などについて深く知ることができます。

ベイエリア散策におすすめのバス

「ちいばす」お台場レインボーバス
共通1日乗車券
500円が
お得!

ちいばす

「小さいバス」を呼びやすくして、また“地域に愛されるバス”という思いを込めて名付けられた港区コミュニティバス。車体デザインは、路線沿線の小学生たちなどによるデザインアイデアをもとにしている。ベイエリアをまわるには芝浦港南ルートが便利。

- 路線 芝(プラザ神明経由含む)・麻布東・麻布西・青山・赤坂・高輪・芝浦港南・田町ルート車庫発着便の計9路線
- 運賃 小学生以上100円

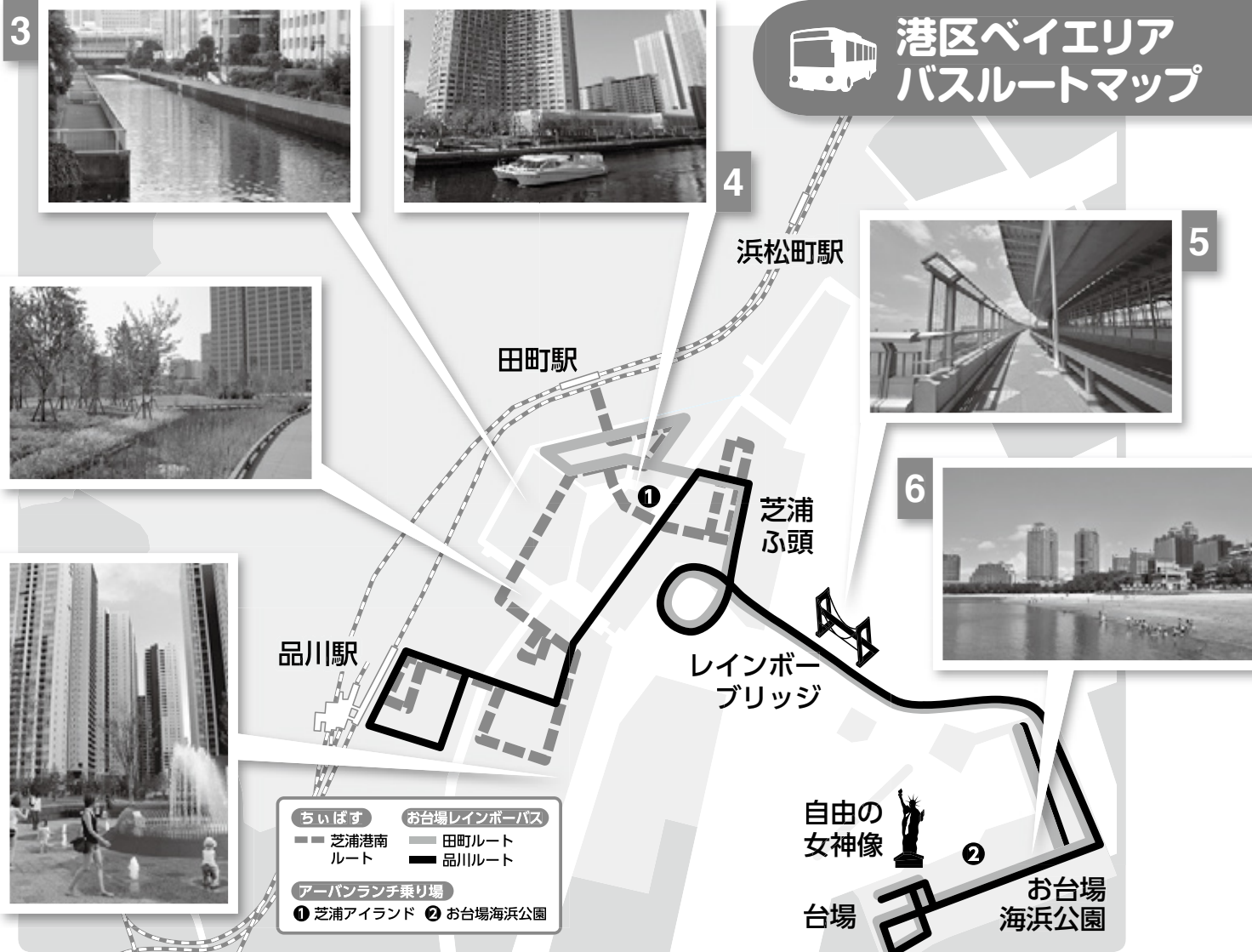


お台場レインボーバス

台場地域の住民代表・企業代表・バス運行事業者・港区で構成される「台場シャトルバス運営協議会」運営の台場シャトルバス。レインボーブリッジを渡り、お台場エリアを循環している。車内アナウンスはフジテレビのアナウンサーが務めている。

- 路線 田町・台場循環、品川・台場循環
- 運賃 中学生以上210円 (小学生100円)





1 今年4月に拡張リニューアル 芝浦中央公園

サクラ、ハナミズキ、アジサイ、ツツジ、サザンカ、ツバキなど四季折々の美しい花や人工芝とゴムチップ舗装の広場、木製遊具のある芝生広場、ドッグランが人気。園内からは、東京タワーやレインボーブリッジを見ることができる。

行き方 「ちいばす」芝浦港南ルート 137芝浦中央公園入口、174・191高浜橋

2 自然と触れ合える水辺空間 港南緑水公園

平成24年4月に全面開園した運河沿いに広がる公園。四季を彩る樹木、いろいろな生きものを見ることができる自然観察池や噴水、はらっぱ広場など自然や水と触れあえる。園内からは、線路を走る東京モノレールや新幹線を間近に見ることができる。

行き方 「ちいばす」芝浦港南ルート 180・188港南小学校前

3 さわやかリバーサイドウォーク 新芝運河沿緑地

運河沿いにはきれいに舗装された遊歩道が続き、夕暮れときにはおしゃれなガス燈が点灯し、ロマンチックな散歩が楽しめる。毎年9月には運河クルーズやキャナルカフェが楽しめる「芝浦運河まつり」が開催されている。

行き方 「ちいばす」芝浦港南ルート 162田町駅東口、163・196芝浦一丁目「お台場レインボーバス」田町ルート 1田町駅東口

4 東京湾岸を爽快クルージング アーバンランチ

汐彩橋近くから、橋梁の下や運河を通して運行しているクルーズ船。芝浦アイランドとお台場、約3.5キロメートルを約15分で運行している。お台場までの運賃は大人600円・小学生300円。ペットや自転車を載せることも可能。

行き方 「ちいばす」芝浦港南ルート 167・172芝浦アイランド「お台場レインボーバス」田町ルート/品川ルート 2・9お台場海浜公園駅前、3・8台場二丁目、4・7フジテレビ前（アクアシティお台場前）

5 海風を感じながら歩く レインボーブリッジ

芝浦と台場を結ぶ長さ798メートルの東日本で最長の吊り橋を歩いて渡ることができる。橋の上からの景色は見事。遊歩道開場時間は4～10月が9～21時、11～3月が10～18時。第3月曜（祝日の場合は翌日）と強風の日は通行不可。

行き方 「お台場レインボーバス」田町ルート/品川ルート 10お台場学園前 ※お台場側から

6 夕暮れどきもおすすめ お台場海浜公園

約800メートルの人工砂浜「おだいばビーチ」が広がる海沿いの公園で、磯遊びもできる。夕方以降は、高層ビルに沈む夕日や夜景の眺めも美しい。自由の女神像のレプリカが目印。

行き方 「お台場レインボーバス」田町ルート/品川ルート 2・9お台場海浜公園駅前、3・8台場二丁目、4・7フジテレビ前（アクアシティお台場前）、6ホテル日航東京、10お台場学園前、11台場一丁目